

## 8. 名古屋産業大学との共同研究

正木和明

### 1. 概要

平成 22 年 12 月 1 日に「愛知工業大学地域防災研究センターと名古屋産業大学大学院環境マネジメント研究科との地域地震災害抑制に資する高精度地震動予測方法と GIS システムの研究に関する協定書」を交換し共同研究を開始した。23 年度プロジェクト課題と参加者は以下のとおりである。

研究課題：尾張旭市における震度予測マップとその利用

研究者 愛知工業大学地域防災研究センター：正木和明、倉橋奨

名古屋産業大学：小川克郎、菅井径世

信州大学：廣内大助

奈良女子大学：西村雄一郎

### 2. センターによる地震計設置

地域防災研究センターは尾張旭市内の名古屋産業大学、コミュニティセンターおよび小学校の合計 5 地点に E-Catcher 小型地震計を設置した。地震計にオンライン機能はなく、地震後回収するタイプである。

23 年度に採取できた記録は、愛知県海部市の地震記録が名古屋産業大学、旭ヶ丘小学校、瑞宝小学校において、岐阜県瑞浪市の地震記録が、名古屋産業大学、旭ヶ丘小学校、瑞宝小学校、東部市民センターで採れている。

### 3. シンポジウムの開催

開催日時：2012 年 2 月 18 日（土）13:00～16:30

開催会場：名古屋産業大学文化センター

テーマ：東海地域の防災～私たちは如何に生き延びるか？尾張旭からの提言～

基調講演：「南海トラフ超巨大地震と防災対策の問題点」小川克郎（名古屋産業大学教授）

パネラー：「愛知県の地震防災施策について」中野秀秋（愛知県防災局長）

「尾張旭市の地震防災施策についてーみんなで意識を高くしよう」加藤雄二（尾張旭市市民生活部長）

「あいぼう会～企業防災診断」正木和明（愛知工業大学教授）

「尾張旭市の高性能地震動マップの作成と応用について」菅井径世（名古屋産業大学教授）

「台湾における地震斜面災害と防災対策について」呉建宏（国立成功大学准授）

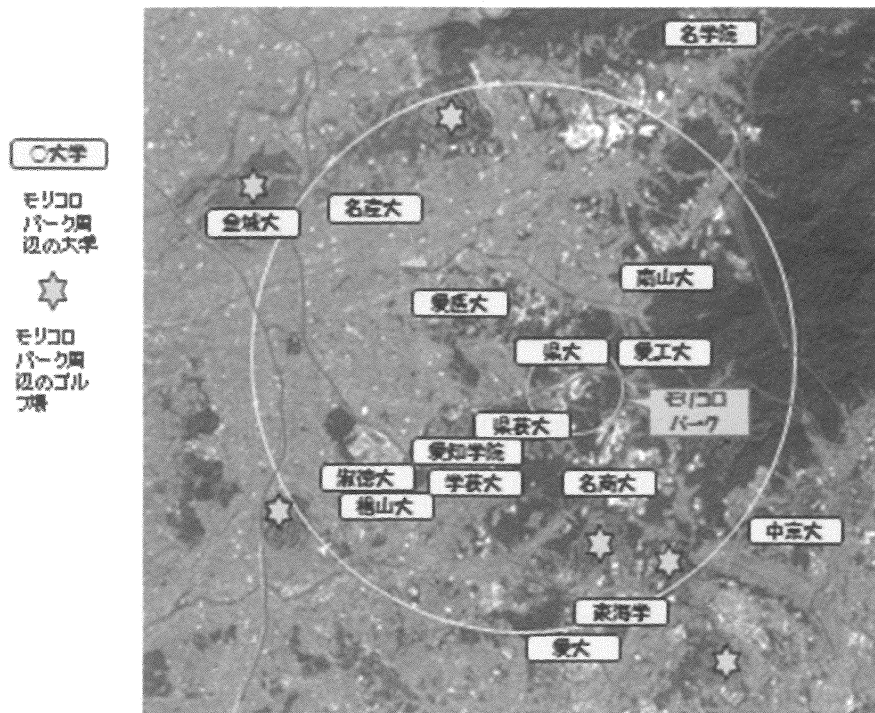


図1 提案されたモリコロパーク防災拠点構想。周りは市街化しているがモリコロパーク周辺のみ緑地が保たれている。半径5km以内に多くの大学とゴルフ場が点在することを利用して防災バックヤードとしての機能を持たせる提案

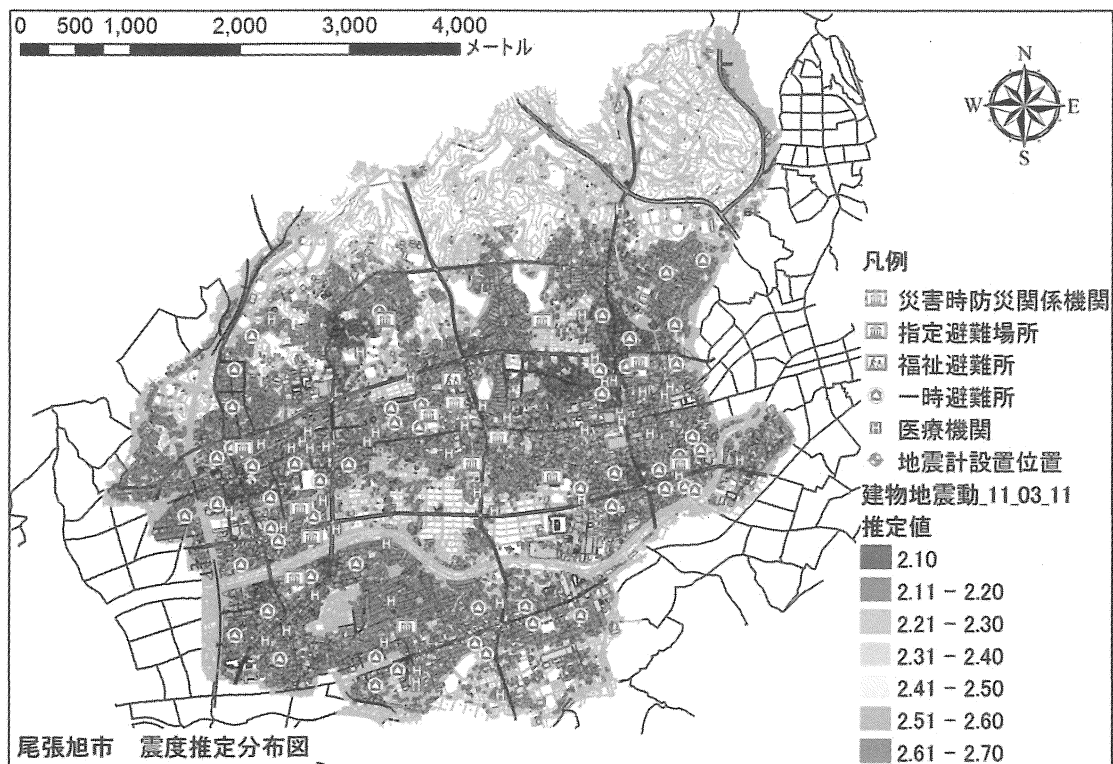


図2 一軒ごとの震度を予測するマップ。ボーリングデータを収集し、地震増幅度を計算する。ボーリングデータが無い地点については既知の地点の値を用いて推定する。図は、2011年3月11日の地震の記録（春日井kik-net記録および尾張旭市内設置小型地震計記録）を用いて推定した住宅ごとの震度。